

## 鯖江はまほろば古墳の町

ひろびろと波打つ稲穂の中に島のよう  
に浮かぶ深緑の台地、鯖江。そこには  
約800基の古墳が静かに眠っています。

縄文時代、弥生時代の遺跡をはじめ、  
北陸最大の円墳 兜山古墳や乙坂今北  
山古墳、経ヶ岳古墳、そして、150基を  
超す王山・長泉寺山墳墓群などがあ  
り、まさに鯖江は心のふるさと古墳の  
町です。

兜山古墳は神明地区にあり、直径が  
約70m、その周りを幅15mの周溝が取



兜山古墳発掘現場説明会

り囲み、兜山北古墳（全長36m）と兜  
山南古墳の3体で兜の姿をした雄大な  
古墳群でした。

北の古墳から出土した土器から6世  
紀頃のものと同定され、13年度に延べ  
400の人員と400万円をかけた発掘調査  
で、その大きさが浮き彫りにされました。

新町から銅鐸どうたつが出土したのは大正の  
始めでした。その後、西山公園から銅  
釧くわん（腕輪）が、最近では西山古墳群や  
長泉寺山古墳群などから、土器や剣、  
銅鏡など、四方谷町から縄文時代の編  
籠あみかごが発掘されて注目を浴びました。今  
も王山古墳群や三峯寺跡の発掘調査が  
進められ、過去5年間の調査費に24  
00万円を投じました。

文化課ではこうした古墳や文化財の  
調査や、資料館で資料を収集・展示し、  
近松門左衛門や久里洋二など幅広く手  
がけています。文化センターで市民団  
体と提携した演劇・コンサートも開  
き、課のスタッフには美術や歴史の専  
門家や学芸員も揃え、幅広く振興を担  
っています。

その歳出規模は平成13年度で約1億  
3000万円。豊かな人間性は芸術・  
文化から。その活動が期待されていま  
す。